

姉妹提携を結ぶ4つのまち

アメリカ ミシガン州 **トラバースシティー市**

ミシガン州の北部グランドトラバース湾に面し、人口は約16,000人。風光明媚な街で、北海道の北部と同じぐらいの位置にあるため、夏には避暑に訪れる人々で賑わいます。湖上スポーツ、ゴルフ、スキーなどアメリカ北部中西部でも屈指の観光地です。

観光の他にもさくらんぼが有名で全米の75%がミシガン州で生産されていますが、その内の半分はトラバースシティー市が占めています。また、毎年ナショナル・チェリー・フェスティバルが行われています。

1970年5月20日 土山町と姉妹都市提携が結ばれ、5月20日をトラバースデーとし、記念行事を行うなど市民レベルでの交流を進めてきました。



アメリカ ミシガン州 **マーシャル市**



デトロイトからミシガン湖に抜ける道の間中にあり、ミシガン州の州都ランシング市の南に隣接し、人口は約7,000人。森に囲まれた美しい町で、夏には虫が群舞する豊かな自然を誇っています。

1800年代の歴史的な建物も残る美しい住宅地としても知られ、これらを巡るツアーがあります。

アンティーク・オークションやガーデンツアーなど1年を通じて10を超える催し物があり多くの観光客で賑わいます。

1984年8月20日 甲賀町と姉妹都市提携が結ばれ、1999年からは甲賀中学校とマーシャル中学校が相互交流事業を実施しています。

アメリカ ミシガン州 **デウィット市・デウィット チャーター タウンシップ**

ミシガン州の州都ランシング市の北に隣接し、人口は約4,700人。デウィットチャータータウンシップは、デウィット市の周囲の町で、人口は約13,500人。

それぞれ行政上は独立した組織となっていますが、学校の通学など日常生活では密接しています。どちらも自然豊かな町であり、自然を取り入れ整備された街並みは、ランシング市郊外の住宅地として人気を集めています。

1994年4月28日 甲南町とデウィット市の姉妹都市提携が結ばれ、1999年から甲南中学校とデウィット中学校が相互交流を深めています。



大韓民国 京畿道 **利川市 (いちよん)**



利川市は京畿道の東南部に位置し、人口は約20万人。都市と農村が調和した田園都市で、中部・嶺東高速道路が交差し、主要国道が通過する交通の要衝地として、優れた産業立地条件を持ち合わせた都市です。また、世界最高の美質を誇る利川米、乳白色で精度の高い桃、土と火そして陶芸家の芸術の魂が重なり、千年息づいてきた永遠な生命固有の伝統陶磁器をつくる世界陶芸の中心軸を成した都市です。陶磁器が交流の媒介となり、また、利川文化院と信楽町観光協会の交流をきっかけに、1999年10月23日 信楽町と姉妹都市提携が結ばれ、陶磁器を通じた活発な文化交流を実施してきました。また、小原小学校と新屯初等学校の交流事業も持続的に行われています。

がっちり握手

—姉妹都市提携調印—

アメリカ合衆国ミシガン州
トラバースシティー市、マーシャル市
デウィット市・デウィット チャーター タウンシップ

大韓民国京畿道
利川市
(いちよん)

トラバースシティー市、マーシャル市、デウィット市・デウィットチャータータウンシップ、利川市 甲賀市姉妹都市提携調印式



▲ 固い握手を交わす各姉妹都市代表
〔左から、ポール・オープンマー市長、柳 勝優市長、リック・ガラルディー スーパーバイザー、中嶋市長、リック・サボ副市長、デュエーン・コーギル市長〕

11月19日、アメリカ合衆国ミシガン州のトラバース市とマーシャル市、デウィット市・デウィットタウンチャーター、大韓民国京畿道利川市の4つのまちと姉妹都市提携を結びました。姉妹都市提携調印式は土山町のホテルで行われ、関係者ら約80人が出席しました。調印後、中嶋市長と各都市代表は友好関係を深めていくことを約束し合い、固い握手を交わしました。

まちづくりの 活性化に期待

調印式には、トラバースシティー市からリック・サボ副市長が、マーシャル市からはデュエーン・コーギル市長が、デウィット市・デウィットチャータータウンシップからはポール・オープンマー市長とリック・ガラルディー スーパーバイザーが、利川市からは柳勝優市長が臨み、同行された皆さんや市関係者が見守る中、調印書への署名が行われました。

式典では、調印書への署名に続き、市旗の交換や記念品の交換が行われ、今後のさらなる交流を誓いました。また中嶋市長は「今回の各都市との姉妹都市提携が、それぞれの民間大使である市民によって虹の架け橋として、友好の輪が一段と広がり、全ての甲賀市民が国際交流に理解を深めていく契機になると確信しています」とあいさつ。今後、市民相互の人的交流に加えて、お互いまちの特性を活かした人づくり、まちづくりに貢献し合う姉妹

姉妹都市提携 までの経緯

甲賀市施行前において、土山町・甲賀町・甲南町・信楽町ではそれぞれ国際交流事業として姉妹都市提携を行っていましたが、合併協議の中で、それぞれの姉妹都市関係は一旦白紙に戻し市制後に調整するという、確認がなされました。身近な生活のなかでもグローバル化が進む今日、市民皆さんの国際感覚に磨きをかけていただくことは大切なことであり、これまで旧町で温められてきた相手国市民との交流がしっかり根付いていることや姉妹都市関係の復活を望む声が高まっていることを受け止め、調印に至ったものです。